

平成 29 年度 第 1 回 県北広域振興圏地域運営委員会議 (29/5/31 開催) における意見・要望に対する対応状況

委員	No.	御意見・御提言	担当部	対応状況・対応方針 (平成 29 年 9 月末現在)
大崎由美子 委員	1	農林水産業への就業について、離農された方に理由を聞くことで定住に向けたヒントになるのではないかと考えている。	林務部 農政部 水産部	<p>【林務部】 久慈東高校の生徒を対象に「体験型林業・木材講座」を実施し、林業・木材産業への新規就業者確保に務めているところです。 上記に加え、今年度は、久慈東高校以外の生徒や保護者に対する体験講座を実施いたします。</p> <p>【農政部】 機会を捉え、離農された方の意見も伺い、新規就農者の確保育成等の施策に反映していきたいと考えております。</p> <p>【水産部】 漁業に就業しない漁家子弟から話を聞く場の設定や、管外に就職する高校生を対象としたアンケートの実施など、幅広く意見を聞く場を作り、担い手の確保対策につなげていきたいと考えております。</p>

委員	No.	御意見・御提言	担当部	対応状況・対応方針（平成29年9月末現在）
大建ももこ 委員	2	宿泊した方への観光案内として、パソコンサイトよりも手元で見せられる方が便利だと思う。また、パンフレットも変わった情報が分かるものがあればいい。	経営企画部（産業振興課）	<p>県北広域振興局では、県北地域の観光振興を図るため、関係機関と連携してパンフレットやインターネット等による観光情報の発信を行っているところ。</p> <p>効果的な情報発信の実現に向けて、パンフレットに掲載する情報の選定等を含め、より観光客のニーズに対応した内容とするよう、関係機関と連携して取り組んでいきます。</p>
小野寺祐治 委員	3	県北企業の事業拡大や販路拡大に対する補助制度について、条件に社員増員がある点、募集から締切までの期間が短い点、複数年度での補助制度について検討いただきたい。	経営企画部（産業振興課）	御意見については、補助制度を所管している県庁の担当課に対して伝達しています。
木戸口敏男 委員	4	若い世代の減少に対して、色々なイベントに県北地域の子供が参加できる工夫をした方がいいと思う。また、福祉関係の施設に入所している高齢者や障がいをもった方々が参加できるイベントもあれば、交流により相乗効果が期待されると考える。	経営企画部（産業振興課） 保健福祉環境部	<p>【経営企画部】</p> <p>県北広域振興局では、若い世代の減少に歯止めを掛けるため、関係機関と連携して小・中・高校生等を対象とした地元企業の見学会等を実施しています。</p>

委員	No.	御意見・御提言	担当部	対応状況・対応方針（平成 29 年 9 月末現在）
				<p>【保健福祉環境部】</p> <p>子育て支援関係者研修会の開催により支援者のネットワーク構築・支援技術の向上を図っています。</p> <p>障がい者の外出先での行動の支障を減らすようユニバーサルデザインの推進を行なっています。また、聴覚障がい者のコミュニケーション支援に向けて手話通訳者の養成研修を行っていません。</p>
佐藤明美 委員	5	<ul style="list-style-type: none"> ・地域医療等の講演会について、地域住民の方が少ないかなと感じている。 ・認知症対策について、一戸町の地域住民の方が地域包括支援センターに気軽に相談できる雰囲気になればいいと思う。 	保健福祉環境部	<p>カシオペア市民フォーラムを含めた市民向けの講演会については、アンケートを行うなど地域住民が参加しやすい時期・時間帯を把握・考慮しながら企画し、記者懇談会や市町村広報などで広くPRしています。</p> <p>地域住民の相談の窓口となる認知症地域支援推進員の配置・養成などを含め、市町村の地域包括ケアシステムの構築について引き続き支援していきます。</p>

委員	No.	御意見・御提言	担当部	対応状況・対応方針（平成29年9月末現在）
佐藤明美 委員	6	マラソン大会などのイベントをそれだけでなく、その機会を地元の産業や色々な所を見せる雰囲気作りをすればいいと思う。	経営企画部（産業振興課）	マラソン大会などの各種イベントは、地域振興に大きな効果が期待されることから、これまでも参加者等に対して特産品のPR等を行うなど、地域の情報発信に努めているところです。 イベント開催による地域への波及効果の最大化を図るため、引き続き参加者等に対する地元の産業や観光施設等の情報提供を行うとともに、それらへ誘導するための効果的な方策について検討していきます。
澤村よう子 委員	7	漁業の後継者不足について、若者が興味を持ち、仕事をしたいと思った時に若者が地元に残るような助成制度等を考えていただきたいと思う。	水産部	国は、平成29年度から新規漁業就業者に対し、最長3年間の現場研修を支援する事業を創出したこと、また、管内市町村において、新規就業者の支援事業が創設されていることから、市町村と連携し、国の事業や市町村の事業を組み合わせることにより、より新規就業者が着業しやすい環境の整備に取り組むこととしています。
十文字保雄 委員	8	農産物のブランド化については、付加価値にいき過ぎず、素材の良さを一番の売りに出していくことが必要だと思う。	農政部	農畜産物の持つ素材の良さを活かす販売支援について検討していきます。

委員	No.	御意見・御提言	担当部	対応状況・対応方針（平成 29 年 9 月末現在）
十文字保雄 委員	9	観光客がネットで観光地を調べたいのは、隠れた魅力のある観光地であり、県北でも頑張らないといけないと感じる。それには、中途半端なものではない体験などの知恵や発想の転換が必要だと感じる。	経営企画部（産業振興課）	<p>県北広域振興局では、体験・交流型観光の振興を図るため、御所野での縄文体験など数多くのメニューを提案しています。</p> <p>引き続き、観光客のニーズに対応した旅行商品の造成に取り組んでいきます。</p>
田口和子 委員	10	住民がもっと自分の健康について考えていかなければならないと感じる。	保健福祉環境部	<p>健康いわた 21 プラン（第二次）に基づき、脳卒中発症の危険因子となりうる高血圧や肥満、糖尿病対策に取り組み、ライフステージに応じた健康づくりを推進しています。</p> <p>活動にあたっては、地域の食生活改善推進員や栄養士、調理師等減塩実践リーダーを育成、団体や関係職種と協働事業を展開し、地域全体への普及を図っています。</p>

委員	No.	御意見・御提言	担当部	対応状況・対応方針（平成 29 年 9 月末現在）
長坂信一 委員	11	台風 10 号からの復旧工事について、できていない部分があると見受けられるので、早い復旧をお願いしたい。	農村整備室 土木部	<p>【農村整備室】</p> <p>平成 28 年 8 月 30 日に発生した台風 10 号による農地・農業用施設の災害は、管内 4 市町村において、農地への大量の土砂堆積や耕土の流失、農業用水路の損壊等 229 箇所にあつた甚大な被害に見舞われたところです。</p> <p>平成 29 年 9 月末時点で、国庫補助事業対象の 54 箇所全ての工事が発注済みで、一部の協議調整が必要な箇所等を除き 49 箇所(91%)で復旧完了しており、29 年度末までに全ての復旧が完了する見込みとなっております。(全被災箇所 229 箇所中 217 箇所復旧済み。残る 12 箇所は年度内完了見込み)</p> <p>【土木部】</p> <p>久慈管内における台風第 10 号災害復旧工事の進捗状況といたしましては、発注ロットを 59 ロットとして発注を進めているところであり、8 月末時点において、26 ロットが発注済及び発注手続き中となっております。</p> <p>今後も、関係機関等との調整を図りながら、平成 29 年度内に全ロットを発注のうえ、平成 30 年度内の工事完成を目指して進めていきます。</p>

委員	No.	御意見・御提言	担当部	対応状況・対応方針（平成29年9月末現在）
長坂信一 委員	12	<ul style="list-style-type: none"> ・農業の新規就農者や後継者については、就農というだけでなく育てていかなければならないと感じている。 ・地球温暖化に向けた対策を進めていった方がいいと感じる。 	農政部	<p>新規就農者の確実な定着を図るため、市町村やJAなど関係機関と連携した巡回指導を実施しております。引き続き、巡回指導を実施していくほか、新規就農者の技術力の向上やネットワーク構築に向けた研修会・交流会の開催も予定しているところです。</p> <p>地球温暖化に向けた対策につきましては、ほうれんそうにおいては夏場の単収向上のため遮光幕導入等の技術支援を、菌床しいたけにおいては補助事業等による空調施設の導入について支援を進めているところです。</p>
成田敦子 委員	13	地域おこし協力隊について、本来の配置の意味や人材の活用方法、一般の人に見える形になればいいと感じる。	経営企画部（企画推進課）	県北広域振興局では、地域おこし協力隊を受け入れる市町村への研修を開催予定であり、協力隊の方々がより活躍できるようサポートしていきたいと考えております。
成田敦子 委員	14	地元の人が地元を認識する機会や、地域を認識した上で発信する場があれば、より地域の活性化につながるのではないかと感じる。	経営企画部（企画推進課）	県北広域振興局では、昨年度に引き続き、北三陸じぇし会と共同で、地域のよいものを集め、発信するイベントを開催予定であり、地域を発信する場づくりを行ってまいります。

委員	No.	御意見・御提言	担当部	対応状況・対応方針（平成29年9月末現在）
成田敦子 委員	15	若者の県外流出については、地元に対する魅力があれば戻ってくると思うことから、女性目線でいうと子育てなどの女性に優しい環境が整っていると住みやすい地域になるのではないかと感じる。	経営企画部（企画推進課・産業振興課） 保健福祉環境部	<p>【経営企画部】 県北広域振興局では、過度な若者の県外流出に歯止めを掛けるため、関係機関と連携して小・中・高校生等を対象とした地元企業の見学会等を実施するなど、若者に地元企業の魅力を知っていただく取組を行っています。</p> <p>【保健福祉環境部】 地域ぐるみの子育て推進に向けて、子育て応援の店の店舗拡大を図っています。また、安心して保育所に子どもを預けられるよう定期的に保育所の指導監査を実施しています。</p>